

2011年度決算概要 2012年度業績予想

株式会社 やまねメディカル

2012年5月

本日のプログラム

I. 2011年度決算概要

II. 2012年度の事業戦略

(①法改正・報酬改定の影響、②既存事業業績回復活動の強化、③新規事業への取り組み)

III. 2012年度業績予想と配当計画

IV. 資本政策と市場対応

ポイント

I. 2011年度決算概要

- ① 小幅増収大幅減益
- ② 既存事業の業績改善計画実現できず
- ③ 小規模デイのFC新事業等を含む先行投資が発生
- ④ 配当は1,000円/株で据え置き

II. 2012年度業績予想と基本戦略

- ① 法改正・報酬改定の影響は収益にマイナスを予測
- ② 既存事業の業績改善活動強化
- ③ 新規事業への取り組み

III. 資本政策・配当政策

- ① 新規事業用に間接金融から資金調達
- ② 配当1,000円/株の据え置きを予定

I. 2011年度決算概要

(1) 2011年度決算実績の概要

① 決算概要

(単位: 百万円)

	2010年度(第9期)	2011年度(第10期)	前年比
営業収入	5,220	5,483	105.0%
営業利益	448	169	37.7%
営業利益率	8.6%	3.1%	
経常利益	512	244	47.7%
経常利益率	9.8%	4.5%	
当期純利益	376	126	33.6%



大幅な減益(業績改善の不調と先行投資費用による)

② 第4四半期のみの決算概要

(単位: 百万円)

	2010年度(第9期)	2011年度(第10期)	前年比
営業収入	1,266	1,313	103.8%
営業利益	46	△125	－
営業利益率	3.6%	△9.6%	
経常利益	66	△116	－
経常利益率	5.3%	△8.8%	



① 営業収入は微増

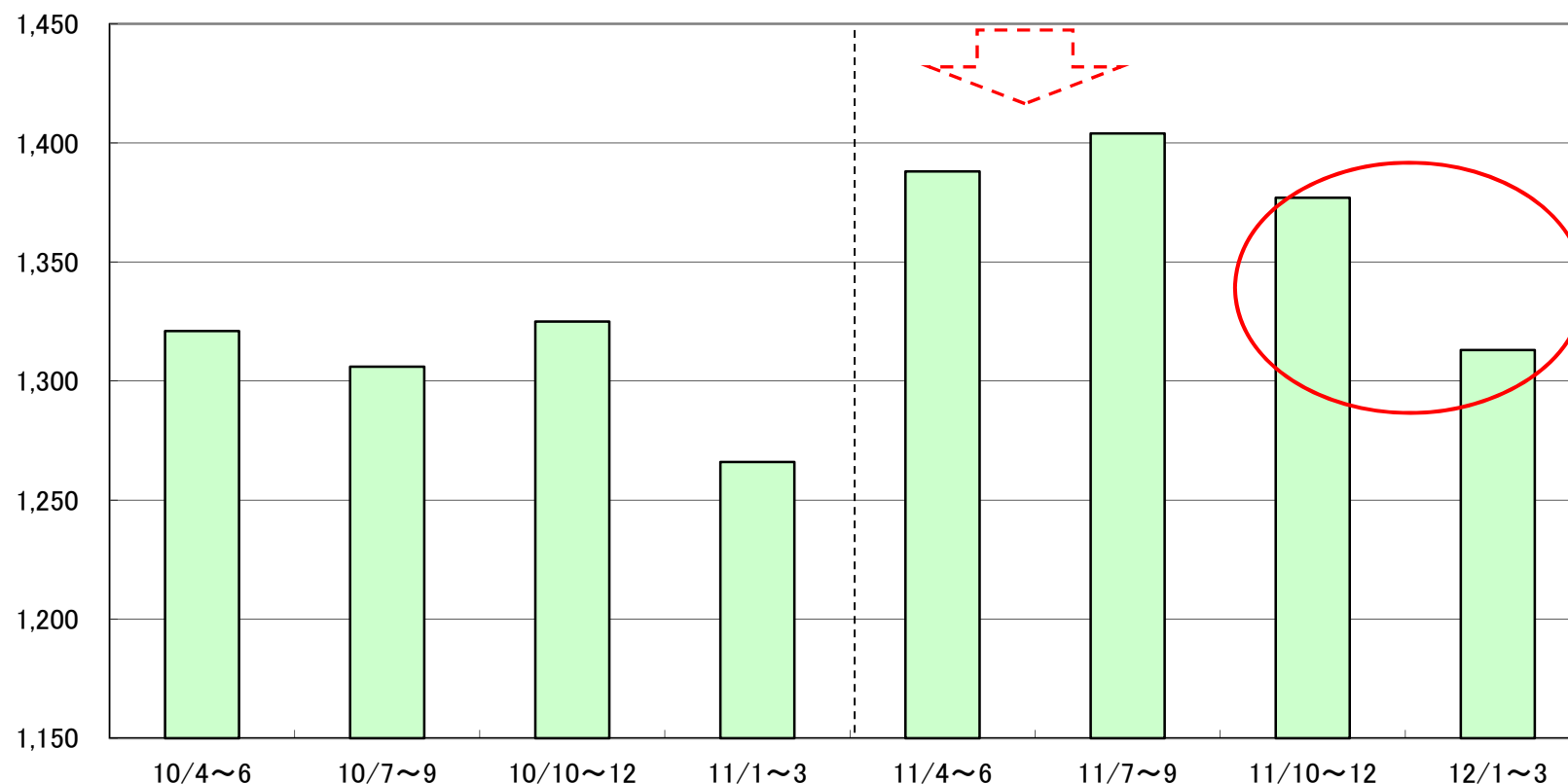
② 新規事業(FC事業等)への先行投資費用がかさんで減益

(2) 業績の分析

① 営業収入の四半期毎の推移

(単位: 百万円)

四半期毎の営業収入

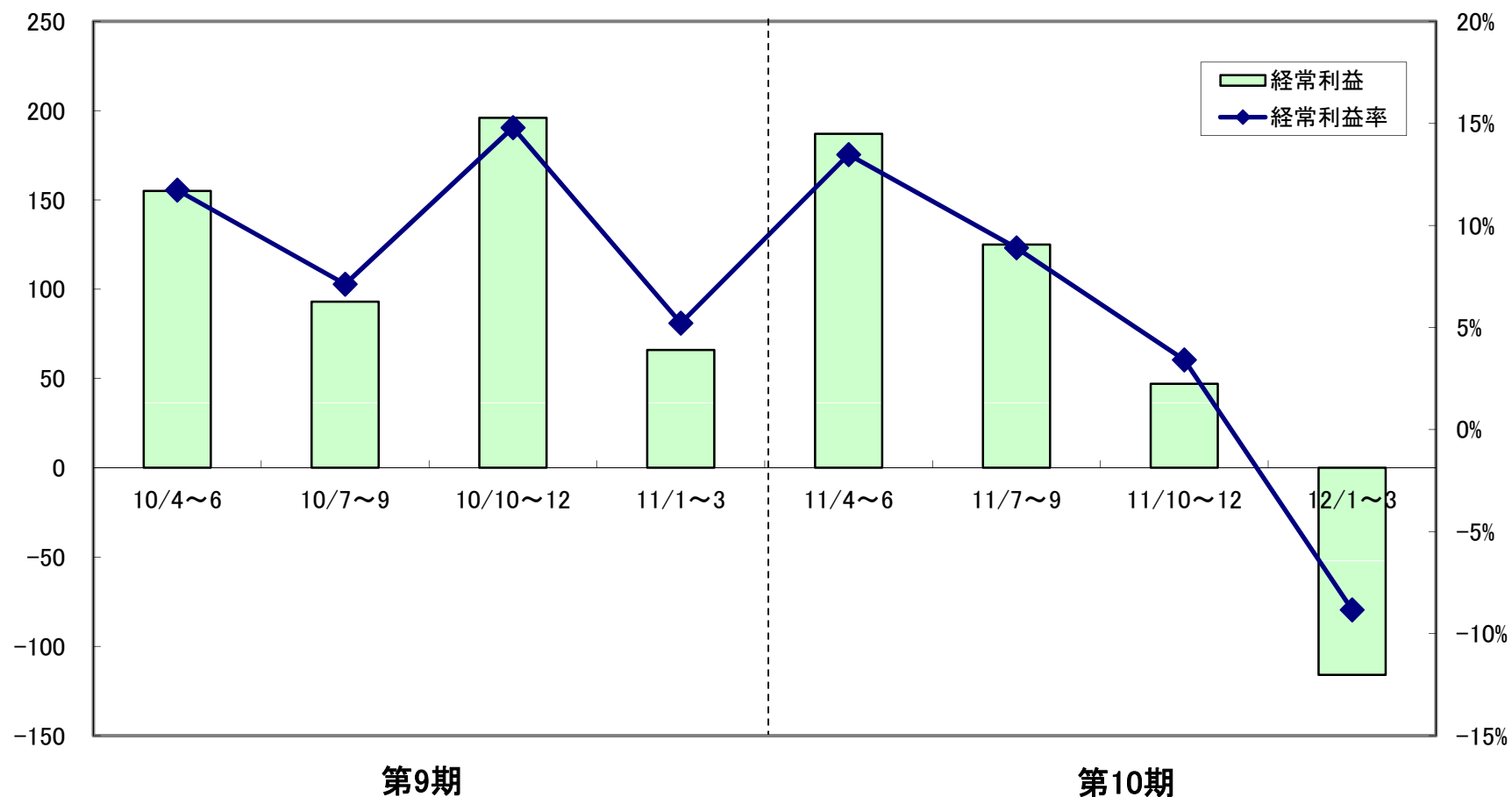


利用者増加が当初計画に達しない上に、下期から失速

② 経常利益と経常利益率の四半期毎の推移

(単位: 百万円)

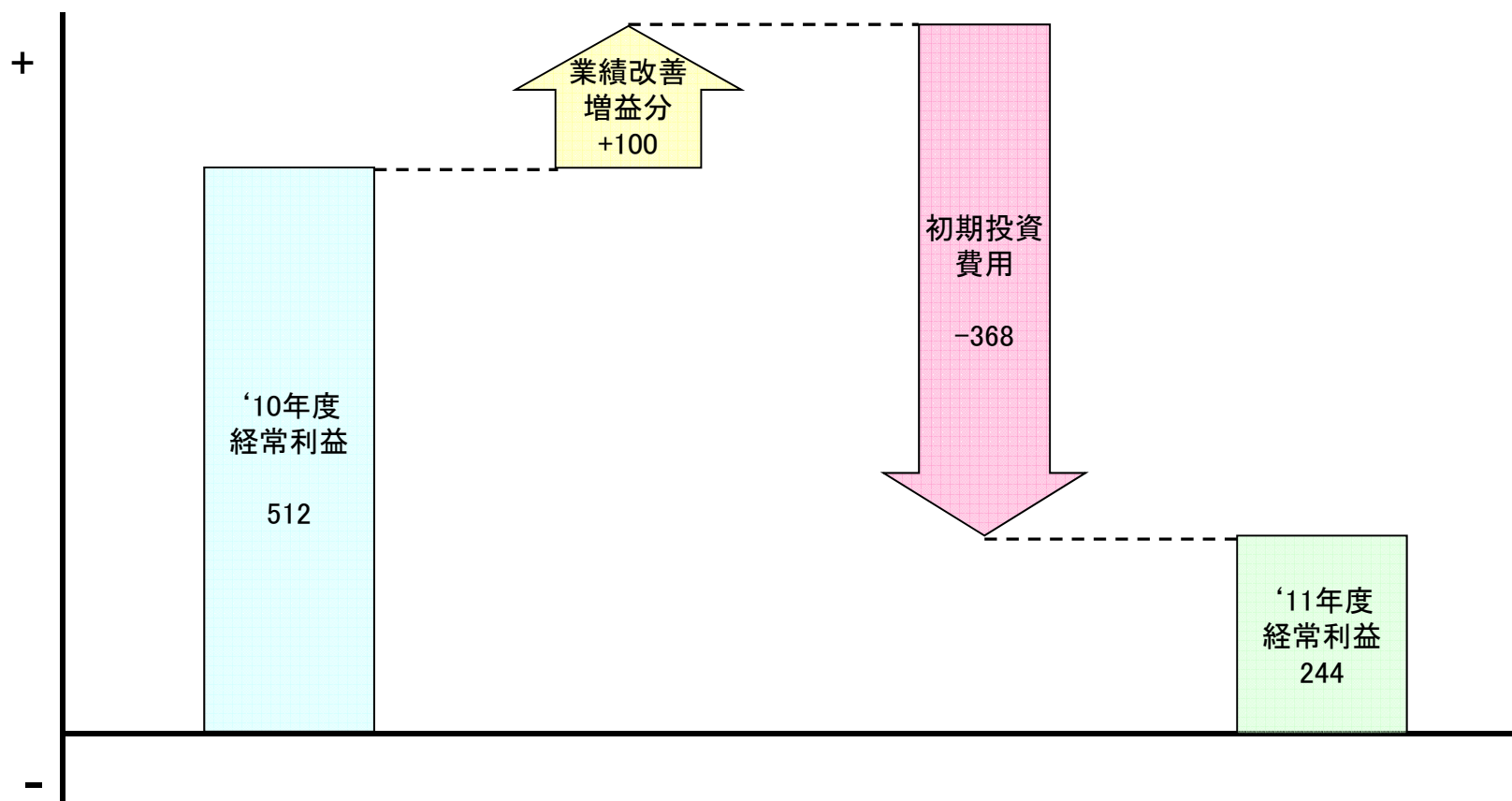
四半期毎の経常利益と経常利益率



下期からの収益悪化は主に先行投資費用によるもの

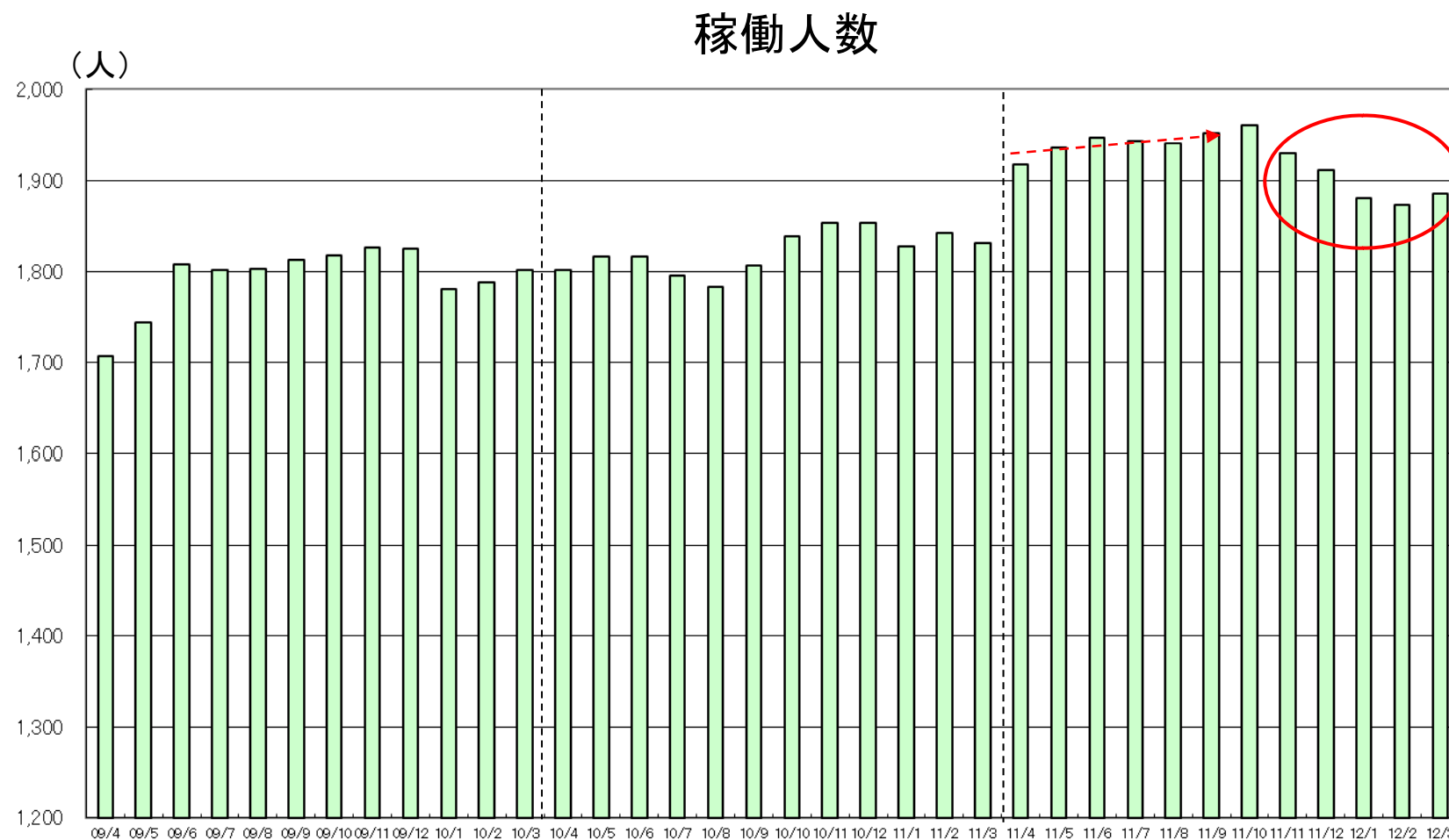
③ 経常利益分析

(単位: 百万円)



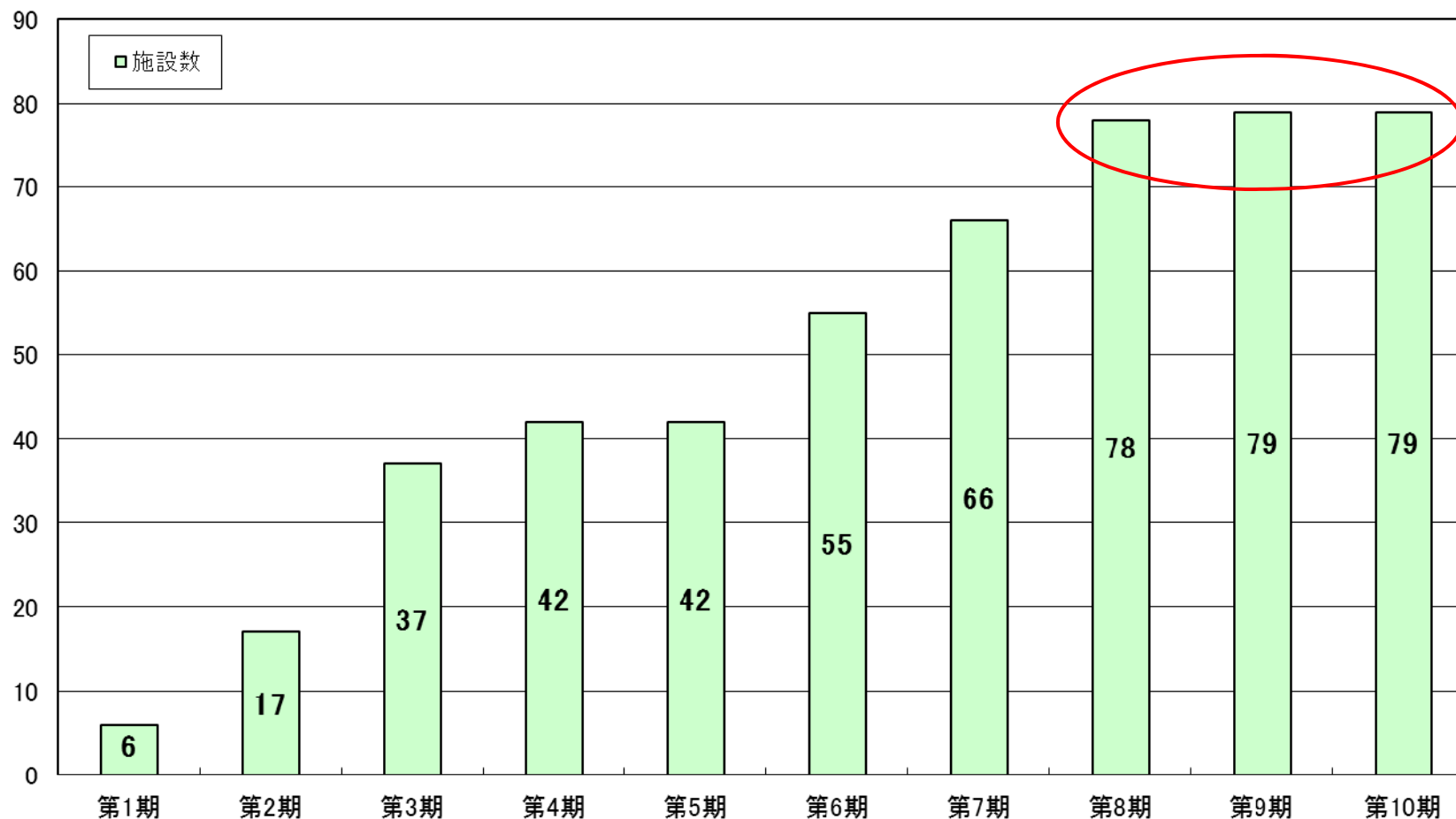
- ① 業績改善振るわず
- ② 初期投資費用が経常利益を押し下げる

④稼働人数の推移



稼働人数(1日あたり利用者総数)の増加停滞が続く

⑤施設数の推移



新規開設はストップ(既存モデルの競争優位性は消失)

⑥営業外損益・法人税等の主な増減要因

(単位:百万円)

	2010年度(第9期)	2011年度(第10期)	増減
営業利益	448	169	△279
支払利息	△14	△8	6
その他の営業外損益	78	83	5
経常損益	512	244	△267
特別損益	130	△4	△134
税引前当期純利益	642	240	△402
法人税等	△171	△101	69
法人税等調整額	△94	△11	82
当期純利益	376	126	△250



処遇改善交付金は営業外計上(今期からは相当加算金が売上計上)

⑦比較貸借対照表

(単位:百万円)

	2010年度 (第9期)	2011年度 (第10期)	増減		2010年度 (第9期)	2011年度 (第10期)	増減
現金預金	302	1,110	808	短期借入金等	250	647	397
未収入金	869	900	31	未払金等	426	466	40
前払費用	83	92	8	賞与引当金	46	54	8
繰延税金資産	44	33	△10	その他	54	92	37
貸倒引当金	△ 4	△ 8	△3	流動負債計	777	1,261	483
その他流動資産	72	68	△4	社債・長期借入金	471	724	252
流動資産計	1,367	2,196	829	リース債務	34	41	6
有形固定資産計	1,086	1,024	△62	その他	120	124	4
無形固定資産計	6	5	0	固定負債計	626	889	263
投資その他資産	433	431	△1	負債合計	1,403	2,150	746
固定資産計	1,526	1,461	△64	資本金	304	304	0
				資本剰余金	254	254	0
				繰越利益剰余金	1,050	1,067	16
				自己株式	△ 120	△ 120	0
				株主資本計	1,489	1,506	16
				新株予約権	0	0	0
				純資産合計	1,489	1,506	17
資産合計	2,893	3,657	764	負債及び純資産合計	2,893	3,657	764

(※コミットメントライン契約と当座借越約定の余裕枠1,200百万円にて流動性確保)

⑧比較キャッシュフロー

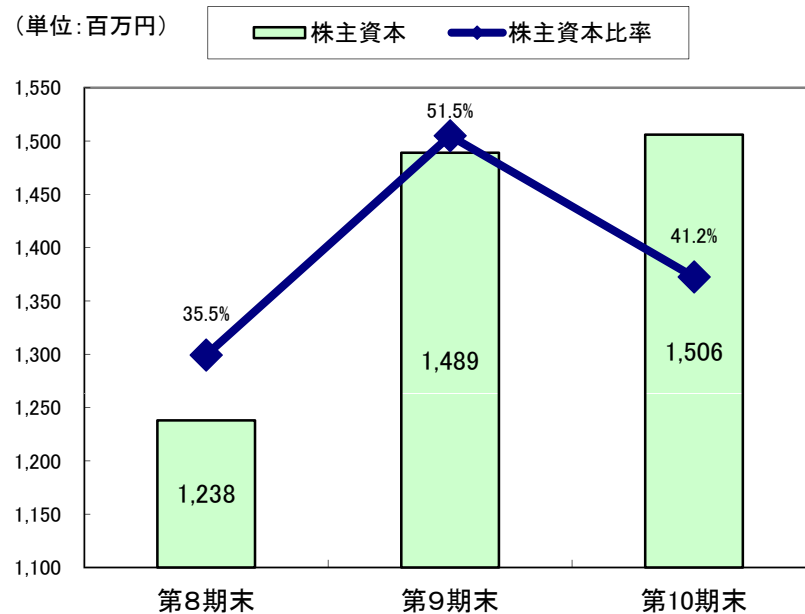
	2010年度(第9期)	2011年度(第10期)
区 分	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	588	334
税引前純利益	642	240
減価償却費等	138	125
売上債権の増加額	3	△31
法人税等の支払額	△ 4	△ 201
その他	△191	200
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△134	△32
(フリー・キャッシュ・フロー)	453	302
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△951	506
IV 現金及び現金同等物の増加額	△497	808
V 現金及び現金同等物の期首残高	799	302
VI 現金及び現金同等物の期末残高	302	1,110



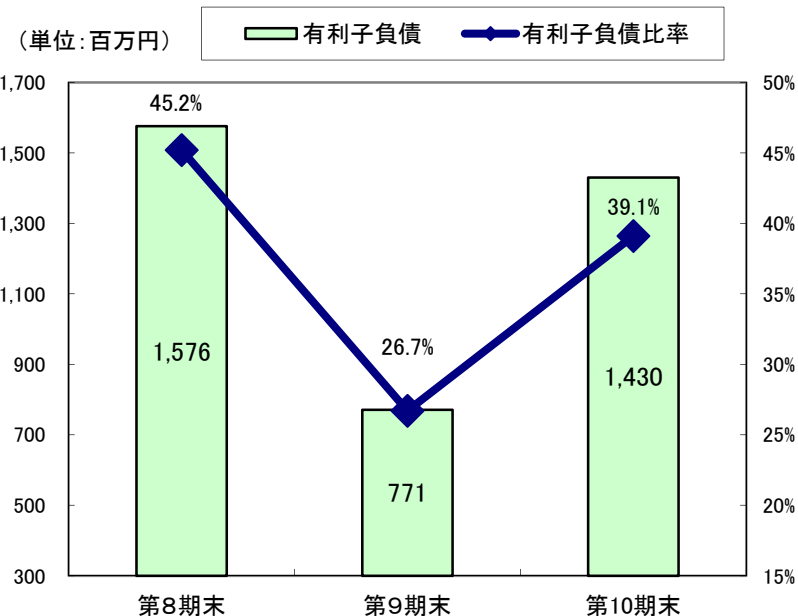
期末現預金残高の増加は主に有利子負債の増加による

⑨株主資本と有利子負債の状況

株主資本



有利子負債



有利子負債の増加は、新規事業展開への準備

Ⅱ. 2012年度の事業戦略

(1) 今回の法改正の主旨

- ① 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう
- ② 医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく提供する
- ③ 「地域包括ケアシステム」の実現

(厚生労働省作成資料より引用)

(2) 今回の法改正・報酬改定の影響

- ① 当社業績に影響する主な変更点
 - i) 時間区分の変更と本体報酬減額
 - ii) 地域区分の変更と報酬変更
 - iii) 従来の機能訓練加算Ⅰの実質廃止
 - iv) 処遇改善交付金の介護保険報酬化

- ② 上記を総合した収益への影響
トータルでは減益と予測

(3) 当社の対応と経営基本方針

- ① 「企業理念」の実践
「価値創造経営」の継続実践
- ② 国策実現への貢献
「地域包括ケアシステム」推進への貢献
- ③ 「事業変革」の推進
当社の強みを生かしつつ、環境変化へ適応

(4) 事業戦略

- ① 既存事業業績改善活動強化
- ② 新規事業への取り組み強化
- ③ 組織力の強化

(5) 既存事業業績改善活動の強化

- ① 営業強化による稼働率の向上
- ② 人員の適正配置と適材適所の厳格化
- ③ サービスオペレーションの修正
- ④ 教育指導活動強化によるサービス標準化推進

(6)新規事業への取り組み強化

① 小規模デイのFC展開

度重なる法改正と報酬改定により、
小規模デイの優位性が強化
(→2002年考案実行した小規模モデルの復活)

② その他新規事業への取り組み

「地域包括ケアシステム」推進への貢献が基軸

(7) 組織力の強化

- ① マネジメントチームの補強、強化
組織の拡大と高度化への準備
- ② 人材改善活動
採用活動の改善と教育指導活動強化
- ③ 組織のしくみの改善と「YMスピリッツ」の浸透
組織改革の実行

(8) 今期の事業戦略上の位置づけ

☆成長の第2ステージへの移行期

- ① 事業環境の変化への適応調整期
- ② 内在価値の拡充期

Ⅲ. 2012年度業績予想と 配当計画

(1) 2012年度業績予想概要

(単位: 百万円)

	2011年度(第10期)		2012年度(第11期)	
		前年比		前年比
営業収入	5,483	105.0%	5,900	107.6%
営業利益	169	37.7%	275	162.7%
経常利益	244	47.7%	250	102.5%
当期純利益	126	33.6%	130	103.2%



先行投資が業績の下振れ要因となるも、わずかな増収増益を予想
(先行投資は、業績改善活動費用と新規事業への初期投資費用)

(2) 配当計画について

1,000円/株を予定
(安定配当を志向)

IV. 資本政策と市場対応

(1) 前期の資本政策と市場対応

1) 前期(第10期分)の配当は据え置き予定

1,000円/株

2) コミットライン契約の締結(総額10億円)

設備投資と有事の際の財務的リスクの軽減

3) 社債の発行と長期借入金調達

新規事業の必要資金

(2) 今期の資本政策と市場対応

1) 配当政策

1,000円/株を予定

2) 市場対策

特に予定なし

- 本資料は、我が国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づき作成された2011年度の業績、並びに2012年度の予想業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は、2012年5月11日現在のデータに基づき作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料は将来の予測等に関する情報を含みますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社やまねメディカルに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。